

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【英語】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	(1) 外国語科の目標を達成するために、各 Unit を「扉」「Preview」「Scene」「Mini Activity」「Read and Think」などで構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。 次に、「扉」では、「Point of View」において、単元を貫く問いを通して題材への興味を高めたり、「Small Talk!」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。 また、積極的に世界とつながろうとする心を育むための「SDGs」(注1)に関連した題材や、他教科での学びを英語の視点で学ぶ「CLIL」(注2)に関する題材などを用いる工夫がなされている。	2年 P7～15 2年 P7 1年 P56 2年 P41 1年 P122～123
	(2) 「Grammar for Communication」では「Use」「Form」「Let's Try!」など、コミュニケーションを支える文法や場面、文脈の確認問題など、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。	2年 P46
	(3) 既習の単語をまとめた「小学校の単語」、各題材の背景知識となる「columnコラム」、自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Tool Box」、音と文字の関係をおさえる「Sounds and letters」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、「Grammar for Communication」や「学び方コーナー」、本文と単語の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。	2年 P17 2年 P58 2年 P17、12 2年 P68、69 P37
	(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「Stage Activity」においてUnitで学習した技能を使ってテーマ別の自己表現活動を行い、4技能の能力を統合的に伸ばすための工夫がなされている。また、「Read and Think」では、「3段階読み」で概要から詳細の順に捉えていく文章の読み方を身に付け、自分の考えを深め、表現する力を育成するように工夫もなされている。	2年 P48～50 2年 P15
9 開隆堂出版	(1) 外国語科の目標を達成するために、各Programを「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。 次に、「Scenes」では、場面絵を用いて新出表現をまとめて導入したり、「Try」「Interact」「Our Project」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。 また、「世界の中の一市民」として豊かな心を育むための「SDGs」に関連した題材や、フィンランド訪問、海外の屋台料理などの異文化理解に関する題材などを用いる工夫がなされている。	2年 P7～14 2年 P8 2年 P9、14、 39 2年 P17～21 P29～34
	(2) 「Scenes」では、ストーリーの中で新出表現がどのような場面や状況、目的で使われるのか視覚的に理解できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。	2年 P18
	(3) 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Word Web」や「Word Box」「Expression Box」、発音とつづりの関係を体系的に学ぶ「発音クリニック」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、表現するための技能を身に付ける「Steps」やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「英語のしくみ」、本文の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。	2年 P48、 P56、68 P66 2年 P16 2年 P25、27

	<p>(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「Our Project」では、PROGRAMで学習した技能を使って表現活動をする事で、4技能を効果的に伸ばすための工夫や、「Interact」では学んだ表現を使う場面を設定し、発話力を身に付ける工夫がなされている。また、漫画を使って、言語の使用場面を視覚的に理解することにより、思考力、表現力の向上につながる工夫もなされている。</p>	<p>2年 P39～43 2年 P14</p>
15 三省堂	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Lessonを「とびら」「Get」「Use」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。 次に、「とびら」では、学ぶ内容への動機づけをし、学びに向かう力を高めたり、「Take Action! Talk」「USE Speak」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。 また、現実の課題に対応できる人材を育む「SDGs」に関連した題材や、日本の漫画とアニメなどの生徒の知的好奇心や興味・関心に合わせた題材などを用いる工夫がなされている。</p> <p>(2) 「GET Plus」では、3コマのイラストを使用し、会話の中の表現と言語の働きを整理し、実際のコミュニケーションで活用する力を養うなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) イラスト付きの基礎的な語句をまとめた「Word Bank」、題材の背景知識となる「Notes」、場面設定を活かした基礎的な会話練習を行う「GET Plus」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、レッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「文法のまとめ」や自律的学習者を育てるための「For Self-study」、音声や動画を効果的に活用して学ぶ「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「Project」において複数の技能をバランスよく活用した言語活動を通して、思考力、判断力、表現力を育成する工夫がなされている。また、「Take Action」では、特に「聞くこと」・「話すこと」を中心に学習できるように構成されており、音声によるコミュニケーション能力を効果的に高めるような工夫もなされている。</p>	<p>2年 P21～27 2年 P21 2年 P17、 P46、47 2年 P39～47 3年 P51 2年 P62 2年 P9 2年 P11 2年 P18 2年 P20 2年 P70 2年 P8 2年 P28 2年 P16</p>
17 教育出版	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために各Lessonを「扉」「Part」「Review」「Task」「Grammar」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。 次に、巻末の「Activities Plus」では、帯活動を活用し即興で話す力を身に付けさせたり、各Part末の「Project」では、4技能を使って発信する活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。 また、人や自然を大切に、共に生きていこうとする理念に基づく「SDGs」に関連した題材や、他教科や学校行事・活動と連携して学習できる題材などを用いる工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Tips」では、コミュニケーションを効果的に行う、4技能を高めるためのコツが練習場面とともに示されており、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Tool Kit」や「And</p>	<p>2年 P9～17 2年 P130 2年 P40 2年 P31～38 2年 P18 2年 P57</p>

	<p>More Words」、英語を聞くとき、読むとき、話すとき、書くときのコツやルールについて学ぶ「Tips」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、読み物資料における注釈的な語句への日本語訳やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「Grammar」、本文の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「Project」では、4技能を必然的に活用するように構成されており、実践的なコミュニケーション能力をスモールステップで育成する工夫がなされている。また、Lessonで学習したことを「Review」「Task」「Grammar」で理解を深め、「Tips」において4技能を技能ごとに学習することにより、効果的に伸ばす工夫もなされている。</p>	<p>2年 P87 2年 P28 2年 P27 2年 P9 2年 P40 2年 P16, 17 2年 P18</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Unitを「扉」「Part」「Goal」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。次に、各Unitと帯教材「Story Retelling」を並行して学習することで、即興で話す力を高めたり、プロジェクト型の「You Can Do It!」の学習を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。また、世界への視野を広げ、国際理解を深める「World Tour」や「SDGs」など、実社会の問題に関連した題材や、他教科の学習等と結び付けた深い学びにつながる題材などを用いるなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 「Goal」では、身近なテーマを基に、身に付けた4技能を活用しながら表現活動を充実させる場を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>(3) 自己表現に役立つ単語をまとめた「Word Board」、実社会に即したコミュニケーションの目的や場面・状況を設定した「Daily Life」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、文構造や文法の知識を言語の使用場面と結び付けて整理した「Active Grammar」、本文スライドアニメや音声、帯教材「Let's Talk!」の実写映像等を読み込める「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「You Can Do It!」では、技能統合型の言語活動によって、思考力、判断力、表現力を養うことができ、自分の言葉で伝える力を身に付ける工夫がなされている。また、学校生活の3年間を通した一連のストーリー構成により、生徒が興味をもって学習することで、身近な表現活動につながるような工夫もされている。</p>	<p>2年 P9～17 2年 P128 2年 P48 2年 P46 3年 P98～101 2年 P58 2年 P9 2年 P55 2年 P60 2年 P61 2年 帯教材 帯教材⑦ 2年 P48, 49 2年 P8</p>
61 新興出版社啓林館	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Unitを「とびら」「Part」「Read & Think」「Express Yourself」「More Information」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。次に、「Let's Talk(Listen, Read)」では、各技能に関連付けて学習して表現力を高めたり、「Project」では、即興で聞き手を意識した言語活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。また、日本や世界で起こっていることや、人間の営みを知る</p>	<p>2年 P7～17 2年 P18, 45 120 P46～47</p>

	「SDGs」に関連した題材や、他教科の学習等と結びつけた題材などを用いる工夫がなされている。	2年 P103
	(2) 「Practice」では、新出表現について、絵を使って語彙や文法事項を適切に配置し、十分な練習が行える活動を設定するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。	2年 P105
	(3) 自己表現に役立つ語句をまとめた「Tool Box」や「Word Box」、日本語による情報コーナー「Notes」、Unitのテーマ・内容に関する補足資料「More Information」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、各Partの「Target」で学んだ文法を振り返る「Targetのまとめ」、本文と新出語句の音声に加えて、文字も読み込める「QRコード」を掲載し、分かりやすくなるような工夫がなされている。	2年 P63、 136、62 2年 P113 2年 P84 2年 P86
	(4) 4技能を統合的に活用しながらコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度及び能力を身に付けるために、「Project」では、学校紹介やあこがれの職業の紹介など身近な話題を取り上げて、4技能を統合的にバランスよく習得し、実践的なコミュニケーション能力を育成する工夫がなされている。また、「Express Yourself」では身近なテーマについて各Unitで学習した技能を活かして自分の考えを表現できるような工夫もなされている。	2年 P46, 47 2年 P28

(注1) 「SDGs」・・・(2015年国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標)

(注2) 「CLIL」・・・(内容言語統合型学習：他教科の学習内容を英語で学ぶ活動)